

## オンラインストレージサービス「box」利用ガイドライン（教職員版）

本ガイドラインは、Box, Inc. (以下「Box 社」)が定める利用規約に基づき、Box 社が提供するオンラインストレージサービス「box」(以下、「box」)の利用について必要な事項を定める。

インターネット上には不正アクセス、ウィルス感染等の様々な脅威が存在し、インターネット経由で個人情報や機密情報が漏洩するリスクがある。box を利用することで、利用者間(学内・学外の利用者)で安全にデータを共有することが可能となるが、設定の誤りで意図せず情報漏洩してしまうことも考えられる。

本ガイドラインは、情報漏洩のリスクから組織・個人を「守る」ことを目的とし、box を利用する際に遵守すべき項目を定めたものである。本ガイドラインを始め、本学で提供している box のマニュアルに記載されている内容や注意点を十分に理解し、利用すること。

### 利用目的

- 原則として「教育・研究」及び「教育事務」で利用することを目的とし、それ以外の利用は認めない。

### 利用資格

- 本学に在職する教職員。
- 病院本部に在職する事務職員・医療技術職員。
- 本学に在学する学生、大学院生、科目等履修生および聴講生等。(2024年4月から利用開始)
- 「情報サービス利用申請」を行い、許可された者。

### 利用期間

- 教職員は在職中、学生は在学中に限り box を利用できるものとする。  
利用資格がなくなった利用者のフォルダとファイルは、学長室情報担当部長の指示のもと、削除する。
- 利用資格を有する場合でも、本学と Box 社の契約が終了する場合には、サービスを終了するものとする。

### 利用方法

- 安全なネットワーク環境の下で、適切なセキュリティ対策が施された機器で利用すること。
- box を利用するには、ブラウザから本学指定のアドレス(以下、「box サイト」)にアクセスするか、Box 社が提供する公式アプリ(以下、「box アプリ」)を用いるものとする。利用方法の詳細についてはマニュアル「操作(BoxDrive)」を参照すること。

### フォルダとファイルの取り扱い

- (1) 利用者の責任について  
利用者は、自身が box 上に保存または編集したフォルダ・ファイルの取り扱いとその内容について全責任を負うこと。
- (2) フォルダの権限にしたがうこと  
box では、利用目的に応じてフォルダを分けている。そのフォルダに許可された権限にしたがって利用すること。(マニュアル「スタートアップ(フォルダ構成)」参照)
- (3) ファイルの編集について  
box 上のファイルは、box アプリまたは、Web ブラウザで box へサインインした状態で編集することで、暗号化されたまま編集することができるので、ダウンロードせずに box 上で編集すること。
- (4) フォルダやファイルの共有について  
box では、フォルダやファイルを学内外の利用者と共有することができる。

フォルダやファイルを共有する際には、利用目的を明確にし、該当機能を利用して、適切な相手に、適切な権限と期間を設定して共有すること。マニュアルの「コラボレータの権限レベルについて」の項目を参照。

### 関連規約の遵守

- 利用者は、box の利用にあたって、東海大学情報セキュリティポリシー及び東海大学個人情報保護に関する規程、Box 社が定める利用規定を遵守しなければならない。  
※Box 社の利用規定は、以下の URL の項目「10.利用規定」を参照  
<https://www.box.com/ja-jp/legal/termsofservice>

### 禁止事項

- フォルダとファイルの取り扱い」項目に反する保存・編集・共有を行わないこと。
- 学内・学外の利用者とのファイル共有は、適切な権限を設定した box の共有機能を利用すること。メール添付によるファイルの共有を禁止する。

### 不正利用防止

- 不正利用の疑いが生じた際は、利用状況を確認する場合がある。
- 利用者が不正利用を行っている可能性があると認められた場合は、学長室情報担当部長の指示のもと、情報システム管理者がその利用者の利用を一時的に停止することがある。

### 免責事項

- 利用者が box 上に保存したファイルに関して、本学は一切の責任を負わない。
- box は、完全性、可用性を完全に保証するものではない。
- Box 社および情報システム管理者は、システム障害等が発生しないように誠実に努力する。万が一、システム障害や緊急メンテナンスなどによって損害等が生じた場合について、本学は一切の責任を負わない。

以上